

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

金沢版総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

石川県金沢市

3 地域再生計画の区域

石川県金沢市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は2018年の約46万6千人をピークに減少しており、住民基本台帳によると、2024年には約44万3千人となっている。また、年齢構成別の推移は、年少人口は1980年代から、生産年齢人口は1990年代から既に減少が始まっている。

最新の国立社会保障・人口問題研究所の推計（2023年公表）によると、前回推計値（2018年公表）より、人口減少予測が悪化しており、2050年には約40万4千人となり、特に年少人口、生産年齢人口はともに20%以上減少すると予測されている。

人口減少は、地域経済の縮小やコミュニティ活動の衰退等、市民の生活に様々な悪影響を及ぼすことが懸念され、本市が、住む人が誇りと責任を持てるまちの実現を目指し、持続的発展を続けるためには、人口減少を喫緊の課題と認識し、対策を行っていくことが重要である。

このため、次の基本目標を掲げ、金沢の個性、強みである歴史や伝統、学術、文化、地域コミュニティ等、地域の資源を最大限に活かすとともにあらゆる分野においてデジタルの力を活用し、多様な主体との連携により、自立した施策を実践していく。

- ・基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる
- ・基本目標2 金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる
- ・基本目標3 イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる
- ・基本目標4 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.50	人口ビジョン 改訂に合わせ て再設定	基本目標 1
	子どもを産み育てやすい環 境が整っていると感じる市 民の割合 ※2	47.5%	59%	
イ	市外へ就職する学生数 ※1	1,911人	1,720人	基本目標 2
	若い世代が金沢に愛着を持 っていると感じる市民の割 合 ※2	43.5%	54%	
	新規大学卒業者の県内就職 内定率 ※2	41.1%	42.5%	
ウ	金沢地域の年間入込客数 ※1	1,045万人	1,089万人	基本目標 3
	価値創造拠点施設(仮称)整 備 ※1	未整備	整備	
	金沢の産業が活性化してい ると感じる市民の割合 ※2	48.6%	53%	

	金沢地域の観光入込客数 ※2	864万人	1,138万人	
エ	行政サービス等におけるデジタル化が進んでいると感じる市民の割合 ※2	35.3%	60%	基本目標4
	石川中央都市圏における連携事業数	80事業	110事業	

※1 2023年度までに実施した事業の効果検証に活用。目標値は2024年度

※2 2024年度以降に実施する事業の効果検証に活用。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

金沢版総合戦略推進事業

ア 若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる事業

イ 金沢の強み生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる事業

ウ イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる事業

エ 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる事業

妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくりや、結婚の希望をかなえるための環境づくり、仕事と家庭の両立に向けた働き方改革の推進を通して、若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 医療的ケア児支援拡充
- ・ こども広場の拡充 等

イ 金沢の強みを生かし、人々がまちに愛着を持ち、集うまちをつくる事業

高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進、まちの魅力を生かした移住・定住の促進、まちに愛着を持つ人材の育成、金沢と継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を通して、金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 大学連携学生定着促進
- ・ 金沢ミュージアムプラス運営 等

ウ イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる事業

外国人観光客を含む多くの来訪者に対し、市民生活と調和した持続可能な観光振興施策を展開するとともに、独創性や多様性を有する金沢ブランドを活用した独自産業の創出を支援するほか、金沢の文化と産学官の叡智の融合、多様な主体との連携による新分野産業の創出を推進し、イノベーションにより産業と雇用が創出されるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 若者、女性をはじめとしたスタートアップの支援
- ・ 魅力発信官民連携プロモーション 等

エ 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる事業

圏域連携による経済・生活圏の形成、コンパクトシティの形成、コミュニティ環境の充実、元気な中山間地域の形成、あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり、誰一人取り残されない持続可能なまちづくりを通して、周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 金沢MaaS（マース）の推進
- ・ 森と市民をつなぐ拠点施設整備 等

※ なお、詳細は第3次金沢版総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,080,000千円(2020年度～2028年度累計)

⑤ 事業の評価の方法(PDCAサイクル)

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2029年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2029年3月31日まで